

教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052)979-1602 広告

Q 乳がんになって乳房の全摘が必要と言われました。術後に胸が平らになるのが嫌なので乳房再建に興味があるのですが、主治医がよく説明してくれません。

A 乳がんの腫瘍の大きさ、存在部位など一定条件を満たせば、乳房切除時に同時の乳房再建も保険適用になっています。背中やお腹の組織で再建する自家組織法とシリコン製のバッグを用いるシリコンインプラント法があります。

ただ、全ての病院で行っているわけではないので説明に偏りがあるようです。

自家組織法は背中やお腹の皮膚と皮下脂肪を血管が繋がった状態で胸部

に移動させる方法と、筋肉を残してマイクロサージヤリーという顕微鏡下に血管吻合を要して移動させる方法があります。手術時間、入院期間が長くなるのがデメリットです。シリコンインプラント法は、まずエキスパンダーという皮膚を膨らますバックを挿入し、数ヶ月後にシリコンインプラントに入れ替えます。二回の手術が必要なのが欠点ですが、体の他の部位に傷がつかないという利点がありますし、エキスパンダーを用いない一次一期再建もあります。

乳房切除後に平らな胸になるより、膨らみを同時に作れば、喪失感も軽減でき、精神面も含めた生活の質の向上が見込まれますのでお勧めいたします。



院長 山口 悟
(ナグモクリニック名古屋)

乳がん患者のQOLを重視し、皮下乳腺全摘手術・同時再建術や他院での全摘出後の再建術など乳がん治療全般及び美容形成外科手術を行っている。1997年福島県立医科大学医学部卒業。ヨーロッパ癌センター(イタリア)、埼玉医大総合医療センターなどを経て、2009年ナグモクリニック名古屋院を開院。医学博士、乳腺専門医、形成外科専門医。
<https://www.nagumo.or.jp/nagoya>